

# 一歩

## 安全・安心

先週、新しい学級担任の所信表明があったと思います。中学校生活最後の一年ですから、悔いを残さないよう生徒のみなさんががんばったことを期待し、担任としても全力を尽くすことが述べられたことでしょう。そして、いじめや他の人が嫌がることは認めない、許さない話もあったでしょう。

昨年度、千葉県で小学校4年生が両親からひどいケガを負わされ、死亡した事件がありました。保護者による子どもへの暴力や虐待も認められませんし、許されるものではありません。裏面に文部科学大臣からのメッセージを載せておきます。みなさんの安全・安心が保証されたうえでの学校生活や家庭生活です。相談したいことがありましたら、先生方が話を聞きます。また、他にもスクールカウンセラーさんや外部にもさまざまな相談機関もあります。裏面には、文部科学省の「24時間子供SOSダイヤル」もあります。

大形中学校の教職員は、みなさんを愛と信頼のもと、守るために全力を尽くします。


### 身体的虐待

- 殴る
- 蹴る
- 投げ飛ばす
- やけど
- 骨折をさせる
- …など

体を傷つける暴力行為

- おぼれさせる
- 異物を飲ませる
- 外へ締め出す
- …など

体への影響が強い行為



## 最上級生チーム

新年度が始まり、みなさんは3年生という最上級生の学校生活がスタートしました。自分のことができるようになるとともに、先輩として1・2年生のためにしてあげる優しさも必要になってきます。最上級生の先輩としての役割です。

すべての人が集団の中で役割があり、存在する意義や意味があります。最上級生として、言葉や具体的な模範で後輩を指導できることは望ましい姿の一つですが、話すことで伝えたり、行動で示すことが苦手な人も、コツコツと取り組む姿が後輩の手本となります。やり方は違っても、「後輩に優しくしよう」「他の人のために少しでも役に立つように心がけよう」という思いがあれば、それが周囲に伝わっていくものです。もちろん、未熟な部分も努力をすることで、できるようになっていたりするものです。

3学年の生徒一人ひとりが心がけることで、147人の学年集団になったとき、すごい力になります。時間的な「継続は力なり」と同様、集団の力が集まったときの「積み重ね」や「集合」した力は非常に大きなものです。

